

2018年1月24日 3Dフォーラム第122回研究会

最近のホログラム等の創作, 発表活動と教育について

塩崎由美子

Yumiko SHIOZAKI

Independent artist

Abstract

- 写真、ホログラム等を使った作品制作と発表活動について。
- どのようなアイデアでホログラムを作品制作に取り入れたか。
- どのような考えで写真とホログラムを結びつけたか。
- どの様に作品を展示空間に生かしたか。
- ホログラム、写真等のワークショップ、教育をどのように行って来たか。

1. Introduction

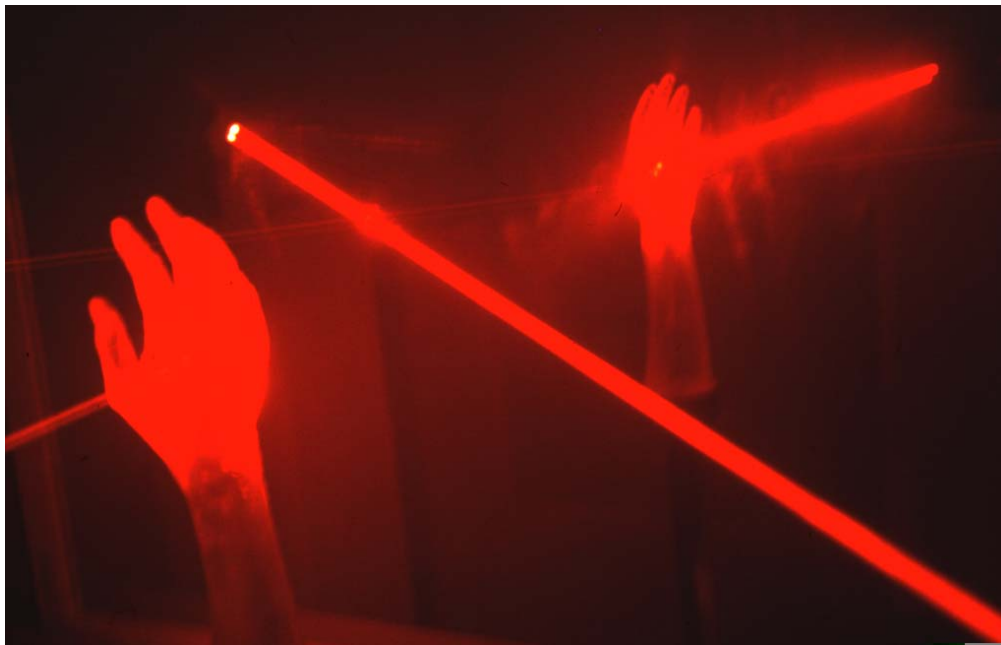
- 常に光が重要なテーマだが、ホログラムを始めた際には「どの様に写真表現とホログラムを結びつけるか」が重要な課題であった。
- 作品制作に多くの多様な素材と技法を使用してきた。
- スウェーデンに住み始めてからは、東洋と西洋の光の違いを意識するようになる。



インスタレーション

“Ny Nordisk Konst i Moderna” Kalmar Konst Museum,
Kalmar, Sweden

“Fishbulle,” Projektrummet Kaledonien, Stockholm



2. Holographic Stereogram

「セルフポートレート」のHolographic stereogramでは、36枚撮りフィルムを使用。

ストックホルムの部屋で机の前の椅子に座っている私が、部屋の手前(撮影中のカメラ側)迄歩み寄り、鑑賞者側の世界を覗き込む。

そうしてまた椅子迄戻り机の上にある鏡を覗き込む。(仏詩人ジャンコクトーの「オルフェ」で、鏡は異世界への入口)

Holographic stereogram が“before after”と言った「時間の意識を空間性と共に表現出来る」と考えた。

Holographic stereogram作品では、観客が見ている現在がすぐに過去となる。



3. Hologram with Candle

ろうそくの炎を光源として画像を見せるホログラム作品。
スウェーデンでは日常生活にろうそくを多く使う事から光源に
ろうそくを使う事を考えた。

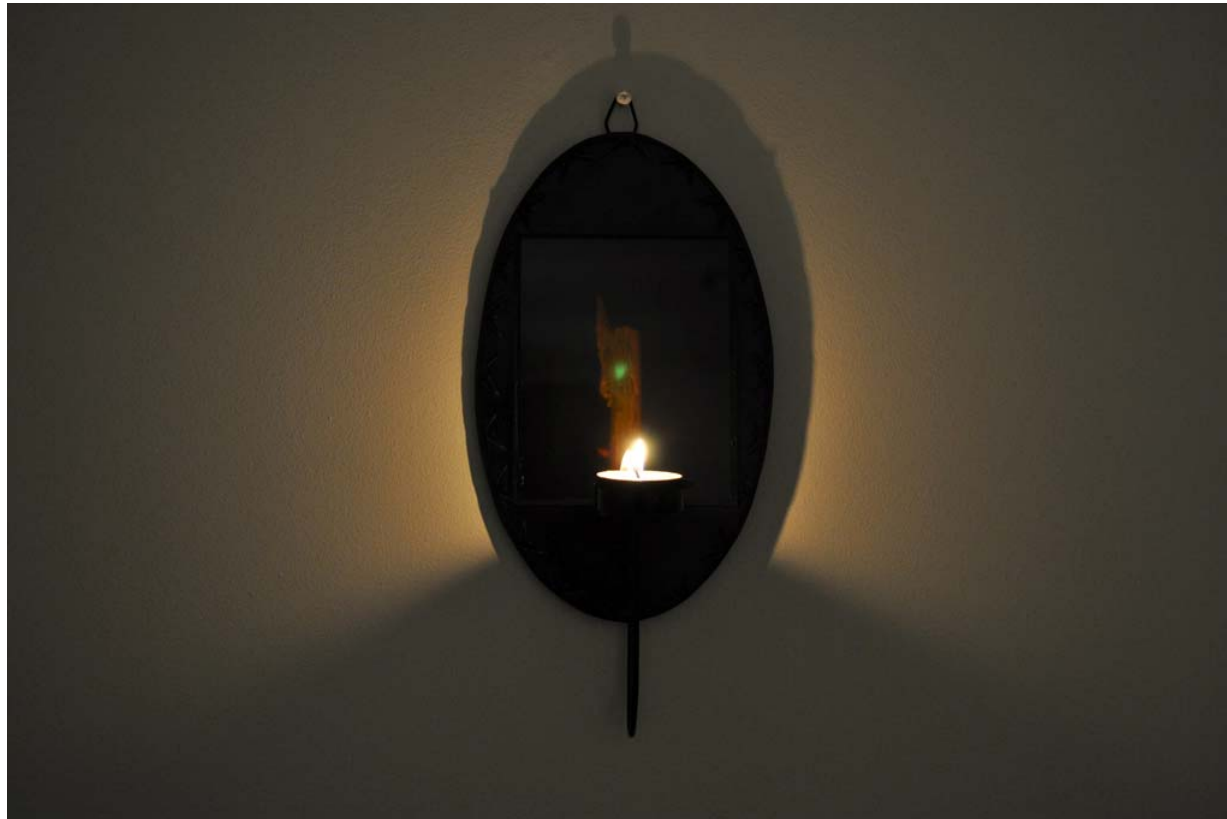
キャンドルホログラムとサウンドインスタレーション
(Galerie Claude Samuel、Paris)



- 美術史上多くの芸術家達が今迄「光」をテーマとして作品を制作して来た。
- スウェーデンに長く滞在するにつれて、「スカンジナビアと日本の光の違い」に、強く興味を抱いていた。

「祈り」

シャープで強い人工光源で見るのとは異なり、ろうそくの炎のゆらぎと共に画像もゆらぐ。炎が消えると画像も見えなくなる。



4. Photograph with Hologram

花のイメージのホログラム シリーズ “diva”

花を被写体として自然の写真と組み合わせ、鑑賞者の動きに応じて花のイメージが変化する。

リンネ草と呼ばれるスウェーデンの有名な植物学者Carl Linnaeus が命名した花の写真を組み合わせたホログラム作品。

植物の力、生命力。



the series “diva”



the series “diva”



- 2009年よりスウェーデンの自然の写真シリーズ
“recovery, 恢復”を始める。
「自然の力が人生への希望と生きる力を与える」と考えた。
写真とホログラムを共に展示。
(New Vision Saitama 静観するイメージ 埼玉県立美術館 2011)

撮影:松本和幸 シリーズ<恢復>より



Galerie Claude Samuel

Paris, France 5/12 2013-11/1 2014



Yumiko **SHIOZAKI**
Una

**GALERIE
CLAUDE-SAMUEL**
le viaduc d'arts
MUSEUM OF CREATION • COLLECTIVE ACTIVITIES

La Galerie Claude Samuel
a le plaisir de vous inviter au vernissage de l'exposition

Yumiko **SHIOZAKI**
Una

Samedi 14 décembre 2013
à partir de 18h30, 69 avenue de Daumesnil, 75012 Paris
tél. 01 53 17 01 11 / contact@claudesamuel.com
www.claude-samuel.com

Exposition du 7 décembre 2013 au 12 janvier 2014
Ouverture du mardi au samedi de 13h à 19h.



La Maison de la Photographie,

Lille, France 27/4-29/5, 2016

“Una” Recovery though Recovery



Yumiko **SHIOZAKI**
Una Recovery through Recovery

MP
MAISONPHOTO.COM

Mercredi 27 avril 2016 à 18h30

toute l'équipe de la Maison de la Photographie
a le plaisir de vous inviter au vernissage de l'exposition

Yumiko **Shiozaki**

Una Recovery through Recovery

Exposition du 27 avril au 29 mai 2016

La Maison de la Photographie, 28 rue Pierre Legrand, Lille-Fives
Ouvert jeudi et vendredi de 10h à 18h, samedi et dimanche de 14h à 18h
Tél. 03 20 05 29 29 / www.maisonphoto.com
Entrée : 5€ / 3€ / Gratuit le soir du vernissage



Galleri Aniara,

Sollentuna, Stockholm 1/4-7/5 2017

“Recovery” Nature and Light, Power of life



Bryggeriet

Nora, Sweden, 10/6-30/7, 2017

Now You see me, Now you don't



Konstforum, Studion

Norrköping, Sweden 3/12-17/12 2017



konstforum
50 år 2014

Saltängsgatan 19,
602 22 Norrköping
011-120650

 SVERIGES KONSTFÖRENINGAR

Onsdag - söndag 12.00 - 16.00
info@konstforumnorrkoping.se
www.konstforumnorrkoping.se

 Folkuniversitetet

5. ホログラム、写真ワークショップ、教育

- ホログラムの一般向け講習会、ワークショップ。
- 美術館等での写真を使った子ども向け、一般向けワークショップ。
- 写真を学ぶ学生達の植物園での写真インスタレーション展示。

大田区石川台しょうとくコミュニティースクール
にて 1987～1989ホログラフィ講習会を行
う。

6回で終了する3ヶ月コースを年に数回。

- 1.ホログラフィー入門
- 2.レーザー再生ホログラム制作
- 3.リップマンホログラム制作
- 4.レインボーホログラム制作1
- 5.レインボーホログラム制作2

被写体は工夫して各自制作。

照明用ライトも各自制作。

制作した作品は持ち帰れる。

受講生はデザイン選考の学生等美術系、写真系の若者が多い。²¹

ZON ホログラフースクール



受講生ホログラフィ展覧会

ホログラフィ展・触覚のない立体

1988 8・25木 ~ 30火

足立 陽子
飯岡 由紀子
池上 清子
石川 洵
磯野 春雄
海老原 直美
大原 共子
日下 裕美子
草原 真知子
児玉 由美子

塩崎 由美子
高橋 秀幸
田中 政行
辻口 真理子
深川 智司
保立 綾
山下 康子
吉川 信雄
吉田 明弘

主催 Zon ホログラフィスクール

協力 しょうとくコミュニティスクール 多摩美術大学 勝間研究室
石川光学造形研究所 船橋西武 コミュニティ・カレッジ

ドイファクトフアラテ 渋谷
10:00AM~7:00PM/日・祭6:00PM/最終日5:00 入場無料

ホログラフィーワークショップ

船橋西武コミュニティーカレッジにて

1990～1994年ホログラフィ講習会を行う。

- 3日間で終了する集中コースを年に数回。
- 船橋西武百貨店内アートスポットギャラリーにて(受講生20名+講師3名)の作品展覧会も行う。

受講生の職業、年齢は多岐にわたる。

ホログラフィーワークショップ

西武船橋コミュニティカレッジ

1993年 9月25日

ホログラフィー・アート講座 追加配布資料

1. 授業/実習の時間割 (人数・進行状況に応じ変更があります) テキスト 2~10ページ 参照

第1日 (9.25)	第2日 (10. 2)	第3日 (10. 3)
オリエンテーション 講義・立体的に見える仕組み ・ホログラムの基本原則 ・リップワイドの原理 説明・オブジェの製作方法 実習・オブジェ (被写体) 製作	説明・リップワイドの撮影法 ・観察法 実習・オブジェ (被写体) 製作 ・リップワイド撮影実習	デモ [実習] ・レーザー再生ホログラム ・レインボウホログラム 講義・各種のディスプレイホログラム ・ホログラフィーアートの色々な表現手法

2. オブジェ (被写体) 製作に当たっての注意 (7.8 ページ 参照)

①素材には固い物 (金属、ガラス、陶磁器など) を使用する。

ホログラムが撮影できるためには、露光時間中の物体の動きが $0.1\mu\text{m}$ (1mmの1万分の1) 以下である必要がある。素材の底面を水平に加工し、ガラスの基板に瞬間接着剤で固定することが望ましい。紙などは絶えず水分を吸収・放出して動いているため、非常に暗く写る場合が多い。

②物体の高さを揃える。

ホログラムには、記録面の近くの物は鮮明に、離れた物はボケて写る性質がある。オブジェの主要な部分をホログラム感光材料の近くに配置することにより、鮮明なホログラムを撮影することが出来る。たとえば、画面全体で物体の高さを30mmに揃えると、見えの良いホログラム作品を作ることができる。

③物体は保持枠に納まる様注意する。

ホログラム感光材料 (ガラス乾板) は金属製の保持枠で保持され、固定される。物体がこの枠に当たらないためには、ガラス板の周囲を10mm空ける必要がある。また物体の上部 (20mm程度) は枠の影に入るので、主要な物体を配置しない様にする。

*** 物体の塗装に関して。

今回の撮影方法 (デニッシュ法) は、暗黒中に配置した物体を上45°方向から点光源で照明した照明条件となる。物体のどの部分も見える様に撮影するため、銀ラッカーでスプレー塗装する。透明な物体や光を正反射する物体をそのまま撮影すると、何が写っているか分からなくなる場合が多い。

塗装場所には、非常階段 (駐車場からの階段) を使用し、ドライヤーを使用して乾燥時間を短縮する。撮影は物体の温度が室温になってから行う。

18 フォログラフィー講座が 西武船橋コミュニティカレッジで好評開催中

メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

ホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

「ホログラフィー」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

「ホログラフィー」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。



第1回 冬の白

の学校写真教室 PUS91が 真展を開催する

「学校写真教室」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

「学校写真教室」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

「学校写真教室」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

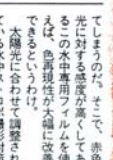
「学校写真教室」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。



第2回 夏の白

20 コダックが水中撮影用 エクタクロームアンタ ーウォーターを発売

「エクタクロームアンター」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。



第3回 冬の白

「エクタクロームアンター」は、おどろきの世界を切り開いてきた。メタリックな画面の上光輝く立体映像、レーザー光線が交差する様子を捉え、鮮やかな色彩で表現されたホログラフィーは、おどろきの世界を切り開いてきた。

子ども写真ワークショップ

練馬美術館、Nacka Konst Hall, Stockholm 2003



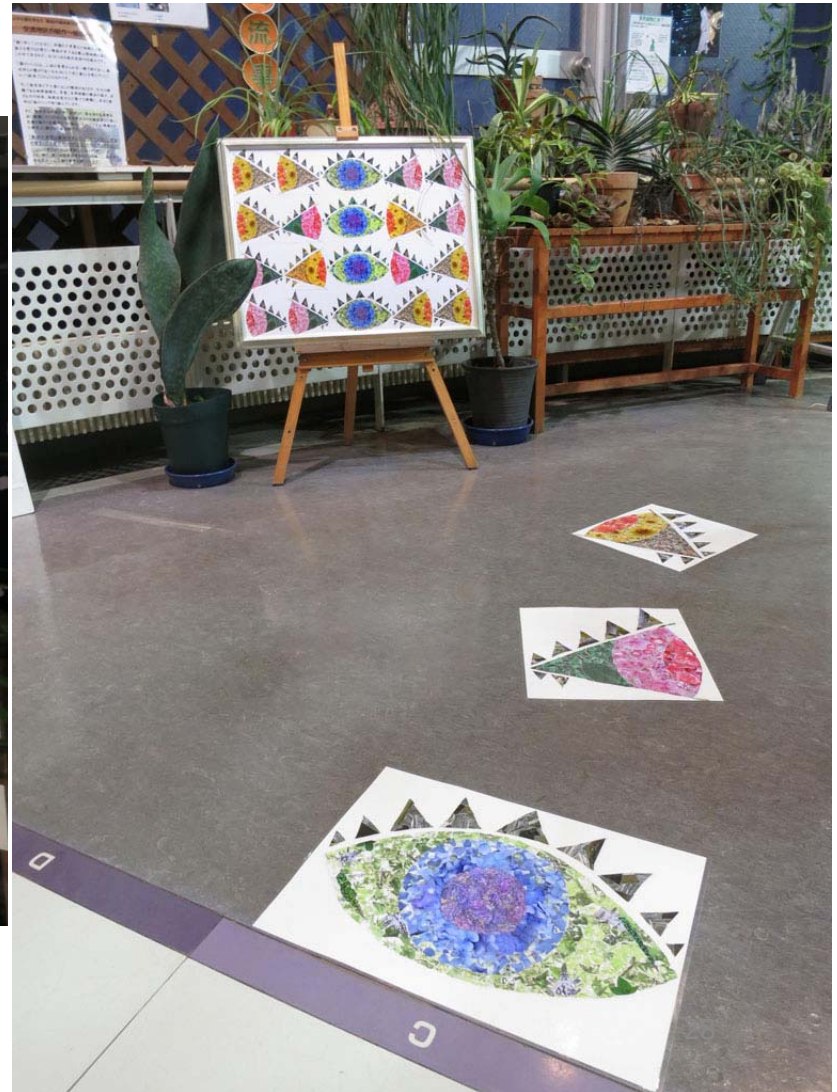
写真ワークショップ

「わたしはあなた、あなたはわたし」
埼玉県立近代美術館 2011



学生写真インスタレーション展示

渋谷区ふれあい植物センター 2012～2017



6. Conclusion

- 私のホログラムを制作する際の写真との関わりを論じたが、写真を意識したホログラムへの応用はいろいろな可能性があると考ええる。
- ホログラム、写真のワークショップ等の教育もいろいろな切り口が考えられる。